

沿革

明治31年	新潟県西頸城郡能生町立尋常高等小学校にて同校訓導兼学校長片田久治郎が水産に関する授業開始
明治32年	能生町立能生水産補修学校開始
明治35年	能生尋常高等小学校に学舎新築・移転
明治37年	西頸城郡立能生水産補修学校と改称
明治38年	西頸城郡立能生水産学校と改称
明治39年	漁労・製造・養殖の3学科設置、修業年限3カ年
明治41年	新潟県立能生水産学校と改称、現在地(井ノ上)に校舎・寄宿舍建設移転
明治44年	新潟鉄工所において西洋型帆船白山丸(初代)(20t)の竣工式挙行
大正 7年	日本型練習船頸城丸(初代)(5t)の進水式挙行
大正 9年	生徒定員 120 名に増員
大正12年	生徒定員 150 名に増員、寄宿舍増築
	新潟鉄工所において実習船白山丸(二代目)(20t)の竣工式挙行
大正13年	生徒定員 160 名に増員。創立 25 周年記念式挙式
大正14年	本年4月より修業年限5カ年に変更
昭和 4年	創立 30 周年記念式挙行
昭和 9年	創立 35 周年記念式並びに慰霊祭挙行
昭和11年	練習船白山丸(三代目)(43t)竣工式挙行
昭和15年	創立 40 周年記念式並びに慰霊祭挙行
昭和23年	新制高等学校の発足に伴い、新潟県立能生水産高等学校と改称、漁業・水産製造・水産増殖の3科を置く
	定時制の授業開始、中心校・能生谷分校及び名立分校に普通科を設置
昭和24年	創立 50 周年記念式並びに新講堂落成の式典を挙行
昭和25年	練習船井陵丸(62t)竣工式挙行
昭和28年	定時制中心校普通科から水産製造科に変更
昭和31年	大型練習船越山丸(初代)(152t)進水式挙行
昭和32年	専攻科漁業科設置
昭和34年	創立 60 周年記念式挙行
昭和38年	相撲道場建築、池田記念道場と命名
昭和38年	第2頸城丸(5t)の進水式挙行
昭和41年	定時制中心校募集停止。全日制水産製造科1学級増
昭和43年	実習船越山丸(二代目)(404t)竣工
昭和47年	創立 70 周年記念式挙行。全日制機関科設置、定員 30 名
	漁業科(定員 40 名を 30 名に)、水産増殖科(定員 20 名を 30 名に)、水産製造科を食品化学科に改名
昭和48年	実習船頸城丸(二代目)(14.81t)進水。普通教室棟落成、現校舎に移転

昭和49年	体育館、機関科実習棟落成
昭和50年	管理棟落成。食品化学科実習棟、くん乾棟落成
昭和55年	実習船越山丸(三代目)(437t)進水式挙行
昭和56年	寄宿舍鷗雛寮落成
昭和58年	特別教室棟落成
昭和59年	池田記念道場(相撲)移転落成
昭和60年	専攻科漁業科募集停止
昭和61年	第二体育館落成
昭和63年	グランド改修工事完成竣工。創立 90 周年記念式挙行。名立分校閉校
平成 元年	中庭造園完成
平成 3年	能生谷分校閉校。食品化学科1学級減
平成 5年	「新潟県立海洋高等学校」と改称 従来の学科を廃止し、新たに、海洋科学科、食品科学科、海洋工学科の3学科設置
平成 6年	小型漁業実習船「くびき」(19t)竣工。潜水実習プール竣工
平成 7年	漁業実習船「海洋丸」(299t)竣工
平成 8年	栽培漁業臨海実習棟竣工
平成 9年	艇庫・作業棟竣工。海洋工学科 350ps ディーゼルエンジン及び監視装置設置
平成10年	中国と国際交流開始 受水槽改修 大体育館大規模改修 創立 100 周年記念式挙行
平成11年	マリミュージアム「海洋」竣工
平成12年	中華人民共和国山東省水産学校と姉妹校提携に調印
平成14年	寄宿舍「鷗雛寮」増築工事完成竣工
平成20年	文部科学省「目指せスペシャリスト」事業採択。創立 110 周年記念式挙行。通学路「井陵の道」竣工
平成22年	文部科学省「目指せスペシャリスト」事業 全国発表会開催
平成24年	「オンリーワンスクール・ステップアップ」事業採択
平成25年	食品科学科実習工場 HACCP 認定(社団法人 大日本水産会)
平成27年	従来の学科廃止、水産科一括募集(水産資源科、海洋開発科の2学科設置) 「オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト」事業採択 寄宿舍「鷗雛寮」大規模改修工事竣工 地方創生加速化交付金事業「高校生の力を地域産業に活かすまちづくりプロジェクト」事業採択
平成28年	文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業採択 第一体育館大規模耐震改修工事竣工